

活動報告書

1 団体名 NPO 法人マックネットシステム
2 活動内容 別府市内の医療機関で治療中の患者さん（がん患者さんを中心に）で、治療によって脱毛や色素沈着や皮膚変化などが生じた患者さんへアピアランスケア（外見ケア）を提供する。 アピアランスケアを提供することで治療中の患者さんの社会参加の促進や治療への意欲の向上を目指す。
3 活動期間 令和3年7月8日 から 令和4年3月29日まで
4 活動実施内容 令和3年7月から10月まで一般社団法人アピアランスセラピー協会の初級から中級、上級までのメイクコースを2名のスタッフが受講した。11月から別府医療センターさん、12月からキムラ調剤薬局さんでの実習を開始した。令和4年1月からアピアランスケアを開始した。別府医療センターさんからはがん専門相談員より患者さんを紹介をしていただき、キムラ調剤薬局さんからは薬剤師さんから紹介をしていただいた。オンラインでの体制も整備していたがオンラインでの希望者はいなかった。
5 活動の成果 当初は不慣れな部分もあり患者さんに逆に気を遣わせる場面もあった。医療的ケアが必要な方への対処も当初は戸惑いも感じたが医療スタッフの指導により対処法を習得していくことができた。患者さんの反応としてはとても好評であり、「治療中もおしゃれをすることの大切さを思い出した」「悪いことばかり考えていたので治療中でも楽しい体験ができてよかった」などの意見を頂く事ができた。アピアランスケアとして脱毛後のメイクのレクチャーだけでなく、お顔のマッサージケアも習得することができたのでマッサージからメイクを行うことができた。その他、ウィッグの試着方法も習得することができ、トータル的なアピアランスケアを実施することができた。 活動は全て対面で実施した。感染予防に留意しながら別府医療センターさんやキムラ調剤薬局さんの一角をお借りしたことで連携を図りやすかった。
6 反省点や今後の目標 今回は全て対面でアピアランスケアを実施した。オンラインでの提供体制も構築していたが希望者がいなかった。オンラインでの実施は対面と比べるとサポートできる内容が限定されてしまうがメイク方法のアドバイスなどは実施可能であるため、支援機関と連携を図りながら利用機会を増やしていきたい。また、対象者は全てがん患者さんであったため、今後はがん患者さんに限りらず、他疾患で脱毛等がある患者さんにも提供できるよう医療機関等と協議を重ねていきたい。